

■ 既存事業発展型文化プログラムの考え方

1. 既存事業発展型文化プログラム

町田市文化プログラム推進計画で策定した将来像「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」の実現に向け、基本方針の取り組みの視点を踏まえたプログラムを展開することで、成果の蓄積を図ります。

これまで町田市や市民等が実施していたプログラムは、基本方針の取り組みのいずれかの視点を踏まえ、「新たな取り組み」を付加することで、より発展したプログラムを展開します。

2. プログラムの新たな取り組み（例）

①子どもが参加しやすい場所でのアウトリーチ活動、公演や発表の場での体験機会の提供等（子どもの参画促進）

基本方針の取り組みの視点

- ・ I ① 文化の概念の拡大をとおした、親しむ機会の拡充
- ・ II ① 文化の持つ社会包摂性をとおして、多様な価値観を受容する感性の育成

②外国人向け体験プログラムの実施等（外国人に向けた日本文化に触れる機会の提供）

基本方針の取り組みの視点

- ・ IV ① 身近にある文化や町田発の新たな文化を発信
- ・ V ① ホストタウン等をきっかけとする海外との交流の促進

③ストリート、公園でのコンサート開催等（立ち寄りやすい場所での開催）

基本方針の取り組みの視点

- ・ I ① 文化の概念の拡大をとおした、親しむ機会の拡充
- ・ III ② 文化が生み出す社会への波及効果を高め、地域をめぐる課題を解決

④学生と文化団体のコラボレーションによる映像作品の制作、若年者と高齢者によるアート作品の制作等（新たなコラボレーション）

基本方針の取り組みの視点

- ・ III ① 連携や協働による新たな文化や価値の創造
- ・ VI ① 多様な人々が交流する機会の拡充